

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 179番
- *交読文 44番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 174番
- 礼拝のための祈り 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 185番
- 聖餐式..... 281番
- メッセージ 人となられたことば、そこに込められた愛といのち(ヨハネ 1:9-14)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 533番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

神はそのひとり子を賜わったほどに、 を愛して下さった。それは御子を信じる がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。(ヨハネ 3:16)

 を照すまことの光があつて、世にきた。彼は世にいた。そして、世は彼によってできたのであるが、世は彼を知らずにいた。彼は自分のところにきたのに、自分の民は彼を受け入れなかった。しかし、彼を受け入れた 、すなわち、その名を信じた には、彼は神の子となる力を与えたのである。

 は、血すじによらず、肉の欲によらず、また、人の欲にもよらず、ただ神によって生れたのである。そして言は肉体となり、 のうちに宿った。 はその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であつて、めぐみとまこととに満ちていた。(ヨハネ 1:9-14)

御言葉をたくわえる人は頭脳明晰になり健康になる事を前回見たが、御言葉は単に覚えるよりも、その「ことば」の中に込められた神様の愛を知り、じっくりと味わう時、喜びといのちが沸き上がってくる。言葉は、その内容が理解できない人から見れば、単なる文字の羅列、「あいうえお」の組み合わせに過ぎないが、言葉の中に込められている愛を知り、感じ、その愛が自分に対して開かれている事をさどる時、喜びといのちが、沸き上がってくる。

神のことば、すなわち御言葉は、知恵であり法則であるが、何より「愛」がふんだんに込められている。だから、同じ御言葉でも、ある人が読む時、ますます顔が輝き、幸福を感じ、健やかになるのに、別の人が読むと、全く分からず、退屈で、さっさと別のことがしたくなる、という事が起きるのだ。だから御言葉を読む時、愛であられる神の御子キリストを信じる信仰がその人になければ、無意味である。

キリストは「ことば」なるお方であり、そのことばには、究極の愛が練りこまれ、充滿している。そして全宇宙そのものと、その中に満ちているものは、全て、神のことばによって創られた。だから人は、自然の中にいる時、安息を得るのだ。人はなぜわざわざ、ハイキングや山登りなどをするのか。建物から外に出て、新鮮な空気を吸い、鳥の声や木々が風になびく音を聞く時、海のさざなみや雨の音を聞く時、あの夕日や月を見る時、なぜ心が落ち着くのか。それは、自然界は愛であられる神のことばによって創られたものであり、その中に、「私達のために」と、練りこまれた神の愛を、何となく感じるからだ。

創世記を見ると、神は混沌の暗闇の中から、まず光を創り、大空を造り、海と陸を分け、陸地に植物を生じさせ、そこに動物や鳥を、また、食物となる草木を生えさせた。

人は、宇宙の最果てや、深い海の底、地底の真っ暗な所に不安を覚え、むしろ光の中、安定した大地の上に安心感を覚える。それは、神はそこに「人が住むように」と、愛を持って定められたからだ。

人は、神が置かれた所、ここに住むように、と言われた所にいるべきで、そこを離れては安息は無いのだ。親は、愛する子のために住む所、衣服、食物を用意してくれるように、神は愛をもって私達のために光を創られ、海と陸を分け、陸のかわいた所に家畜や獣、そして人を住まわせ、食物となる植物を生えさせた。だから、神様が「あなたのために」と言って創られた光や木々、動物と接する時、人は安息を得るのだ。

人は罪あるものとなり、人は、人に失望し疲れるものである。その時、無意識・本能的に一人になって、自然のものト向きあおうとするが、それは人は被造物の内に現れている神の栄光ト向き合いたいという衝動を本能的に持っているからだ。『神の見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性とは、天地創造のこのかた、被造物において知られていて、明らかに認められるからである。』(ローマ 1:20)

世はキリストによって創造されたのに、世の人はこのお方を受け入れなかった。(ヨハネ 1:11-13)

自分が神でいたい人は、神の存在を否定するが、このお方を信じた人、すなわち、御言葉を信仰をもって受け入れ、御言葉を自分自身と混ぜあわせた人には、全く新しい、神の子としてのいのちが与えられる。『そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。わたしたちはその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であつて、めぐみとまこととに満ちていた。』(ヨハネ 1:14)

どうして神と人とがひとつになる事が出来るのだろうか。それは、ことばによってである。

人は、言葉という種を入れる袋のようなもので、どの言葉によって満たすかで人格が決まり、そしてどのような種を自分の人生や環境に対して蒔くかによって、どんな実を刈り取るかが決まる。

皆さんは自分自身の中に、どんな言葉を蓄えようとしているだろう。そして、自分の人生に対してどんな言葉を蒔いているだろうか。

神の子なら神の子らしく、信仰の簞った御言葉である「いのち」を振り蒔き、いのちを刈り取るべきだ。神は「光よあれ」と宣言して、その通りに光が出来、「区別されよ」と宣言して、混沌から秩序が生じたように、私達も主イエスにあつて神の子であるので、信仰を持って主イエスの名によって「なれ」と命じる事ができる。大いに御言葉を蓄え、至る所、あらゆる機会を用いて、御言葉の種を蒔き、その唇の実であるいのちを、たっぷり刈り取る皆さんでありますように。イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00
聖書の学び会(詩篇) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト